

ライオン、使用済みハブラシ由来の再生素材を「板材」として初展示 —「REMARE Plastic SUMMIT 2026」に出展し、資源循環型マテリアルの事業性を追求—

ライオン株式会社(代表取締役兼社長執行役員:竹森 征之)は、2015年から取り組んでいる使用済みハブラシの回収・リサイクル活動を通じて生まれた再生素材を活用した板材を、初展示し実用化に向けて取り組みます。合わせて、2026年10月14日(水)～16日(金)に開催される展示イベント「REMARE Plastic SUMMIT 2026 Exhibition」に協賛・出展し、ハブラシ由来の再生板材および活用プロダクトを披露いたします。本取り組みを通じて、これまでノベルティ等にとどまっていたハブラシ再生素材の建築・インテリア・店舗什器等における市場性とB2Bでの事業性を検証し、1社・1取り組みにとどまらない「ハブラシリサイクルの社会実装」に向けた基盤をつくり、事業性を追求します。



■背景

オーラルヘルスケアのトップメーカーとして「つくる責任・つかう責任」を果たし、循環型社会へ貢献するため、当社は2015年より使用済みハブラシの回収・リサイクル活動を開始しました。自治体・学校・企業・生活者の皆様との共創を広げた結果、回収拠点は全国1,724ヵ所に拡大し、累計回収量は33.5トン(約268万本、2026年5月時点)に達しています。

一方で、社会全体におけるハブラシの回収・再資源化は発展途上にあり、本取り組みを特定の啓発活動やCSRにとどめず、社会の習慣・インフラとして定着させることが求められています。そのためには、より多くの自治体や団体の参画とともに、回収されたプラスチック資源が建築資材やプロダクト等のマテリアルシートとして社会で活かされ続ける「出口(=市場性)」の創出が不可欠です。今後も多様なパートナーとの共創を通じて、持続可能な資源循環モデルの構築が必要となるため、事業性を追求する取り組みの一環として「REMARE Plastic SUMMIT 2026」に出展いたします。

■「REMARE Plastic SUMMIT」概要

REMARE社は、膨大なプラスチックごみをリサイクルするだけでなく、デザイナーやアーティストとともに素材の可能性を具体的なプロトタイプとして形にし、建築やプロダクトの現場で「選ばれる素材」として根付かせることを目指しています。

今回賛同企業とともに、企業が抱える廃材を起点に、デザイナーとともに素材の可能性を具体的なプロダクトのプロトタイプとして形にし、展示を通じてその可能性や実効性を業界内外へと拡大していきます。

会期:2026年10月14日(水)～16日(金)

時間:10:00～18:00(※最終日のみ～17:00)

会場:コクヨ株式会社 東京品川オフィス「THE CAMPUS」1階“BOXX”

当社も協賛企業としてハブラシから誕生した板材を初展示いたします。

ご予約フォーム: <https://plasticsummit2026.peatix.com>

※入場無料(要予約)。ご来場の際は上記フォームより【10/14(水)～10/16(金)展示入場チケット】をご選択の上、事前予約をお願いいたします。

<使用済みハブラシを再利用して作られた板材>



左:細かく碎かれた歯ブラシの破片が白素材と混ざり合ったデザインの板材

右:ハブラシ由来のペレットとハブラシの破片が混ざり合ったグレー基調のマーブル模様の板材

■今後の展望

当社は、パーパスである「より良い習慣づくりで人々の毎日に貢献する」のもと、サステナビリティ重要課題として掲げる「健康な生活習慣づくり」と「サステナブルな地球環境への取組み推進」に向け、誰もが使うハブラシを起点に、日々のオーラルヘルスケアに加え、使用済みハブラシを回収・再資源化するより良い習慣の定着を目指します。今後も使用済みハブラシの回収活動を推進するとともに、回収したハブラシを高品質な再生樹脂へと生まれ変わらせる技術開発に取り組みます。さらに、デザイナーとの協働を通じて、アップサイクルやアートとしての新たな価値を創出し、再生素材の販売を通じた事業性を追求します。

こうした取り組みにより、幅広い分野で再生素材を活用できる可能性を広げ、サステナブルな社会の実現に貢献してまいります。

<板材から誕生したプロダクト見本>



看板(壁掛け型)



看板(置き型)



コースター



ハブラシの持ち手

【関連情報】

・当社の環境への取り組み

[資源循環型社会の実現 | サステナブルな地球環境への取組み推進 | サステナビリティ | ライオン株式会社](#)
[ハブラシリサイクル | サステナビリティ | ライオン株式会社](#)
[長期環境目標「LION Eco Challenge 2050」](#)

・ニュースリリース

[ライオン「くらしのプラでリサイクル！ガンプラプロジェクト」始動](#)

2026年8月27日

[「ハブラシリサイクル」活動、11年間の実績報告](#)

2026年6月15日

[埼玉県私立幼稚園・認定こども園での「ハブラシリサイクル」活動を拡大 ～2025年10園から開始し、2026年5月より南ブロックを中心に約100園で展開～ プラスチックリサイクル促進に向けて幼少期からの環境教育を埼玉県と産官学民で推進 | ニュースリリース | ニュースルーム | ライオン株式会社](#)

2026年5月25日

[東京都台東区との包括連携の第1弾！ ハブラシリサイクル活動を開始](#)

2023年3月30日

以上

お問い合わせ窓口 ライオン株式会社 〒111-8644 東京都台東区蔵前1-3-28 ＜報道関係の方＞ 広報部 03-6739-3443
